

第2回 台東区区民憲章策定区民会議 議事概要

日時：平成17年9月29日（金）19～20時

場所：台東区役所

次第

- 1 議事概要確認
- 2 議事

- (1) 今後の進め方について
- (2) 今後の検討内容について
- (3) 会議の進め方について
- (4) 台東区らしさについて
- (5) 次回日程

配布資料

次第

- 資料1 台東区区民憲章策定区民会議 委員名簿
- 資料2 区民憲章策定区民会議 今後の進め方（例）
- 資料3 台東区・区民憲章策定会議について

議事概要

会長

- ・事前配布されていた前回の議事概要について、何かご意見はありますか？
（意見なし）

(1) 今後の進め方について（事務局：資料2を説明）

- ・恒久的な憲章とするためにできるだけ回数・期間をかけるのが筋だと思う。

会長

- ・資料2の例2の案を参考として、来年の夏頃を目途に策定していく。
（異議なし）

(2) 今後の検討内容について（三輪副会長：資料3を説明）

- ・憲章を定型的にすると、文章が短くなり、誤解を招く可能性がある。行動的な文言を補足する必要がある。
- ・上野商店連合会が独自の憲章を作成しており参考にすべきである。台東区は、上野、浅

草など地域性が強い区である。個々の地区の特徴を出して作成するののかも考えていく必要がある。

- ・新聞記事で、台東区の緑が23区中下から2番目であること、環境が非常によくないことを知った。台東区に住んでいても、台東区について知らないことが多い。もう少し台東区のことを詳しく知る必要がある。高齢化の進展や、つくばエクスプレスの開通などの環境の変化を踏まえ、台東区らしさ、今後、守っていくべきものを検討していきたい。
- ・基本構想では、「にぎわい いきいき したまち台東区」というキャッチフレーズを掲げている。このキャッチフレーズを下敷きとして議論を進めていくべきと考えている。
- ・行政と区民のパートナーシップが重要である。台東区の文化をもっと掘り上げてほしい。

(3) 会議の進め方について

<分科会方式について>

- ・幾つかの部会に分かれて思い入れを討論し、それらを全体会議に持ち寄って、取捨選択する方法がよい。
- ・区民憲章の文言を総花的にするのか、台東区に必要性の高い分野に対応して文言を作成するので、会議の進め方は異なる。
- ・相手の息が感じられるような距離感で話し合いを進めてほしい。学識経験者3名、区議会議員から1名、公募区民から1名の5名の代表が、分科会のまとめをしてほしい。
- ・最初は、あまり形式に囚われずに、区民憲章に書き込みたいことを、少人数の分科会で自由に出し合い、徐々に形に集約していった方がよい。
- ・基本構想を作成した際の区民ワークショップでは、各10名程度の3つグループに分かれて議論した。グループに分かれての議論の結果を全体会に持ち寄り、全体会での議論の結果をまたグループに還元する方法を提案したい。
- ・3点確認させてほしい。1つ目は、基本構想と区民憲章が別物であるとするれば、区民憲章が区議会で否決される可能性はあるのか、行政はどのように考えているのか。2つ目は、区民の定義・範囲をどのように捉えるのか。3つ目は、区民憲章を使って、今後、何をしようとしているのか、これらの3点を確認した上で、分科会に移った方がよい。分科会ではブレインストーミングをしつつ、幾つかのキーワードを抽出できればよい。

(事務局) 基本構想は、地方自治法に基づいて地方自治体に策定が義務付けられた議決事項である。台東区の基本構想は、長い時間をかけて区民とともに策定し、非常に細かく記述されているので、一般論として区民憲章の内容が、基本構想の内容からそれほど外れたものになるとは考えていない。区役所は、区民憲章の策定に向けた会議の場を設定するというスタンスで参加している。

会長

- ・基本構想は、区の行政が主体となって台東区の将来像を作成するものである。一方、区民憲章は、区民が自分たちはこうありたいという姿を示すもので、目的も主体も異なる。区民の定義、憲章の策定目的については、今後の議論の中でも検討していきたい。

- ・幾つかの小グループに分かれて、区民として区民憲章に何を表したいのかについて、議論することを提案したい。最初の1、2回は、小さなグループに分かれて議論することとしたい。

(賛成)

<区議会議員の参加について>

- ・基本的には、基本構想の流れを踏まえて議論してもらいたい。区民の自由な議論を促進するために、区議会議員は、その議論の中に参加しない方がよいと考えている。
- ・区議会議員は、それぞれ派閥を代表していることもあり、区議会議員を代表して1名が参加することは難しい。区民の自由な意見をうかがった上で意見したい。
- ・全体で議論した第1回目の会議を踏まえると、もっと少人数での座談会形式で徹底的に議論すべきである。そうした議論の場に、派閥を代表する議員が参加するのは遠慮したい。ただし、議論の結果を踏まえ、全体会議ではいろいろと発言していきたい。
- ・議論が詰まった場合には、議員として発言する可能性もあるので、最初の段階から話し合いに参加するのは遠慮したい。区議会議員ではない区民の方に忌憚のない議論を進めて頂きたい。

会長

- ・区議会議員には最初のご遠慮頂き、ある程度方向性が固まった段階で、またご参加頂ければと思う。

(事務局)グループについて、2つに分けると3つに分けるのは、どちらがよいか。

会長

- ・最初は、できるだけ小さな単位で議論した方がよいと思うので、3つのグループに分かれて討議してもらいたい。

(4)台東区らしさについて

(3つの分科会に分かれて討議)

(5)次回日程

(分科会ごとに、10月28日(金)、31日(月)、11月2日(水)の19時より開催)

(以上)